

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月15日(2013.8.15)

【公開番号】特開2012-176026(P2012-176026A)

【公開日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2011-39390(P2011-39390)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月28日(2013.6.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の演出図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを表示する演出実行手段を備え、前記図柄変動ゲームにおいて予め定められた大当り表示結果が表示された場合には、特別入賞手段が開閉動作する大当り遊技が付与される遊技機において、

前記図柄変動ゲームが、大当りになるか否かを判定する大当り判定手段と、

前記大当り判定手段の判定結果に基づいて、図柄変動ゲームが大当りとなる可能性を示唆する予告演出を実行させるか否かを判定する予告判定手段と、

前記大当り判定手段の判定結果に基づいて、図柄変動ゲームの演出内容を決定する演出内容決定手段と、

前記演出内容決定手段が決定した演出内容に基づく図柄変動ゲームを実行させると共に、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には当該図柄変動ゲーム中に予告演出を実行させる演出制御手段と、を備え、

前記予告判定手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合、否定の場合と比較して、高確率で予告演出を実行させることを決定するように構成されており、

前記演出内容決定手段は、図柄変動ゲームの演出内容として、予告演出の実行可否を報知する第 1 演出内容と、予告演出の実行確率を複数の演出段階で示唆する第 2 演出内容とを決定可能に構成されており、

前記演出内容決定手段は、

前記第 1 演出内容を決定したとき、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には、予告演出を実行させることを報知する第 1 演出内容の実行を決定する一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合には、予告演出を実行させることを報知しない第 1 演出内容の実行を決定し、

前記第 2 演出内容を決定したとき、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には、複数の演出段階がある第 2 演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が高いことを示唆する演出段階の第 2 演出内容ほど決定しやすく構成されている一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合には、複数の演出段階がある第 2 演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が低いことを示唆する演出段階の第 2 演出内容ほど決定しやすく構成されており、

前記演出内容決定手段は、

1 回の図柄変動ゲームの演出内容として、図柄を変動表示させてから一旦停止表示させるまでの変動サイクルが複数回実行される擬似連続演出の実行を決定可能に構成されており、

前記擬似連続演出の実行を決定した場合、各変動サイクルの演出内容としてそれぞれ第 1 演出内容を決定可能に構成されており、

前記擬似連続演出の実行を決定したときであって、各変動サイクルの演出内容として前記第 1 演出内容を決定するとき、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には、予告演出を実行させることを報知する第 1 演出内容を最後の変動サイクルの演出内容として決定する一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合には、予告演出を実行させることを報知しない第 1 演出内容を最後の変動サイクルの演出内容として決定するように構成されており、最後の変動サイクル以外の変動サイクルでは、予告演出を実行させることを報知しない第 1 演出内容を決定可能に構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

図柄変動ゲームの演出内容を特定するための演出モードを設定する演出モード設定手段を備え、

前記予告判定手段は、どのような演出モードが設定された場合であっても、前記予告演出を実行可能に構成されており、

前記演出内容決定手段は、

前記演出モード設定手段により設定された演出モードに応じた演出内容を決定するように構成されており、

複数の演出モードのうち、特定の演出モードが設定されたときにのみ、前記第 1 演出内容及び前記第 2 演出内容を決定可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記演出内容決定手段は、

1 回の図柄変動ゲームの演出内容として、図柄を変動表示させてから一旦停止表示させるまでの変動サイクルが複数回実行される擬似連続演出の実行を決定可能に構成されており、

前記擬似連続演出の実行を決定した場合、各変動サイクルの演出内容としてそれぞれ第 2 演出内容を決定可能に構成されており、

前記擬似連続演出の実行を決定したときであって、各変動サイクルの演出内容として前記第 2 演出内容を決定するとき、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には、複数の演出段階がある第 2 演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が高いことを示唆する演出段階の第 2 演出内容ほど最後の変動サイクルの演出内容として決定しやすく構成されている一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合には、複数の演出段階がある第 2 演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が低いことを示唆する演出段階の第 2 演出内容ほど最後の変動サイクルの演出内容として決定しやすく構成されており、

最後の変動サイクル以外の変動サイクルでは、次の変動サイクルで実行される第 2 演出内容の演出段階により示唆する予告演出の実行確率以下の実行確率を示唆する演出段階の第 2 演出内容を決定することを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記問題点を解決するために、請求項 1 に記載の発明は、複数種類の演出図柄を変動させて行う図柄変動ゲームを表示する演出実行手段を備え、前記図柄変動ゲームにおいて予め定められた大当たり表示結果が表示された場合には、特別入賞手段が開閉動作する大当たり遊技が付与される遊技機において、前記図柄変動ゲームが、大当たりになるか否かを判定す

る大当り判定手段と、前記大当り判定手段の判定結果に基づいて、図柄変動ゲームが大当りとなる可能性を示唆する予告演出を実行させるか否かを判定する予告判定手段と、前記大当り判定手段の判定結果に基づいて、図柄変動ゲームの演出内容を決定する演出内容決定手段と、前記演出内容決定手段が決定した演出内容に基づく図柄変動ゲームを実行させると共に、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には当該図柄変動ゲーム中に予告演出を実行させる演出制御手段と、を備え、前記予告判定手段は、前記大当り判定手段の判定結果が肯定の場合、否定の場合と比較して、高確率で予告演出を実行させることを決定するように構成されており、前記演出内容決定手段は、図柄変動ゲームの演出内容として、予告演出の実行可否を報知する第1演出内容と、予告演出の実行確率を複数の演出段階で示唆する第2演出内容とを決定可能に構成されており、前記演出内容決定手段は、前記第1演出内容を決定したとき、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には、予告演出を実行させることを報知する第1演出内容の実行を決定する一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合には、予告演出を実行させることを報知しない第1演出内容の実行を決定し、前記第2演出内容を決定したとき、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には、複数の演出段階がある第2演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が高いことを示唆する演出段階の第2演出内容ほど決定しやすく構成されている一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合には、複数の演出段階がある第2演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が低いことを示唆する演出段階の第2演出内容ほど決定しやすく構成されており、前記演出内容決定手段は、1回の図柄変動ゲームの演出内容として、図柄を変動表示させてから一旦停止表示させるまでの変動サイクルが複数回実行される擬似連続演出の実行を決定可能に構成されており、前記擬似連続演出の実行を決定した場合、各変動サイクルの演出内容としてそれぞれ第1演出内容を決定可能に構成されており、前記擬似連続演出の実行を決定したときであって、各変動サイクルの演出内容として前記第1演出内容を決定するとき、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合には、予告演出を実行させることを報知する第1演出内容を最後の変動サイクルの演出内容として決定する一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合には、予告演出を実行させることを報知しない第1演出内容を最後の変動サイクルの演出内容として決定するように構成されており、最後の変動サイクル以外の変動サイクルでは、予告演出を実行させることを報知しない第1演出内容を決定可能に構成されていることを要旨とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0130

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0130】

(ハ)前記演出内容決定手段は、前記予告判定手段の判定結果が肯定の場合であっても、複数の演出段階がある第2演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が低いことを示唆する演出段階の第2演出内容を決定する可能性がある一方、前記予告判定手段の判定結果が否定の場合であっても、複数の演出段階がある第2演出内容のうち、予告演出が実行される可能性が高いことを示唆する演出段階の第2演出内容を決定する場合がある。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0131

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 1 】

(二) 前記演出制御手段は、前記擬似連続演出の実行が決定された場合、最終回以外の変動サイクルにおいて、変動サイクル中、擬似連続演出が継続することを報知する擬似連報知図柄を一旦停止表示させる。

【 手続補正 6 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 1 3 2

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 1 3 2 】

(ホ) 前記演出制御手段は、前記擬似連続演出の実行が決定された場合、最終回以外の変動サイクルにおいて、変動サイクル中、リーチの組み合わせを一旦停止表示させた後、擬似連続演出が継続することを報知する擬似連報知図柄を一旦停止表示させる。

【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 1 3 3

【 補正方法 】 変更

【 補正の内容 】

【 0 1 3 3 】

(ヘ) 前記演出制御手段は、前記予告判定手段の判定結果が肯定のときであって、前記擬似連続演出の実行が決定されたとき、いずれかの変動サイクル中に予告演出を実行させた場合には、その後の変動サイクルにおいて予告演出を必ず実行させる。